

# ビル経営

2004 8 9 第993号  
夏期特大号 月4回 月曜日発行

## 日本システム企画



代表取締役社長  
熊野 活行氏

「NMRパイプテクター」の特徴は、配管内の黒錆を赤錆に変えて、配管の腐食を防止し、配管の硬度も高めていくことです。黒錆は体積が赤錆の10分の1以下の不動態で、赤錆が100%硬い皮膜の黒錆に変化すれば、

## オフィスビルには空調配管に設置が有益

◀帝劇ビルにも設置



その給水管は外部腐食が10分の1の黒錆に食がない限り半永久変化することにより的に使用可能となり 解消し、水の流れます。また、赤錆により 徐々に回復することる配管の閉塞も体積になります。加えて、

## 完全黒錆化で配管は半永久的に使用可

設置工事には断水が不要で費用は従来の配管更新・更正工事に比べて10分の1以下と経済的にも有益であると言えます。そのため、ビルに対しては、レストランや医療施設の入居するビルや、もしくは、空調配管の更正など、水使用料が多く断水が不可能である場合や工事規模が大きい場合などに「NMRパイプテクター」が設置されました。

M Rパイプテクター」の需要が高まっています。オフィス

ビルの給水管は比較的使用頻度が低く、「NMRパイプテクター」は水の流動力が放電を誘発しているというところもあり、空調配管も併せて設置がより望ましいと思います。最近の事例では、帝劇ビルの他、東宝ツインタワービルにも給水・冷却水配管に「NMRパイプテクター」が設置されました。